



平安

あったかハートで Hey!安心!!

11月号

体験してわかること

学校長 中村 浩子

「百聞は一見に如かず」ということわざの通り、私たちは言葉で何かを説明されるよりも、一度でも、実際に見て、触れて、体験する方がずっと理解しやすいものです。大人は文章から内容を想像したり、文章に書かれていないことにも過去の経験で補ったりできますが、子どもはそういうわけにいきません。子どもが物事を知るには、実物に触れるということがとても大切です。

10月12日(水)～13日(木)に5年生は御殿場体験学習を行いました。キャンプファイヤーは雨でできませんでしたが、それ以外の活動は計画どおりに行うことができました。コロナウイルス感染症対策のため、5年生も初めての宿泊学習でした。活動として、植樹体験、野外炊事、キャンドルファイヤー、カヌー・カヤック体験を行いました。子どもたちの感想には、

- ・薪を火に入れるだけで火はつくと思ったけれどそうではなかった。新聞紙と牛乳パックがどんどんなくなっていき心配したけれど、いい火になって良かった。(野外炊事)
- ・今までで一番おいしいカレーができた。(野外炊事)
- ・あまり話さなかった友達と話せた。(宿舎で)
- ・はじめはうまくいかなかったけれど、だんだんコツをつかんでうまくできるようになった。ペアの人と息を合わせて漕ぐのが楽しかった。(カヌー) (※一部抜粋)

とありました。薪に火をつけるのは簡単だと思っていた子どもにとっては、実際にやってみて新聞紙の火はすぐに消えてしまう、煙で目が痛い、なかなか大きな火にならない等、多くのことを学んだと思います。そして、いつもは一緒に過ごさない時間帯にもクラスの友達と一緒に過ごすことでの新発見もあったことでしょう。学校ではできない体験を数多くする中で、ひと回り大きく成長できたことと思います。

また、10月20日(木)に3年生が森永工場の見学に行きました。子どもたちがお礼状に書いていた中には、

- ・タンクの前はチョコレートのにおいが充満していて、おなかがすいてきた。こんなにたくさんチョコレートをどうやって使い切るのかな？
- ・今まで何気なく食べていたチョコモナカアイスの最中をパリパリに保つ方法を知った。家で中を確認しながら食べてみた。

と書いてありました。実際に行ってみたからこそ、五感を使って感じる事ができたようです。また、子どもにとって身近なお菓子を扱う工場だったので、自分の食べてみたい味のお菓子をリクエストしたり、実際に見学後に家庭で食べて確かめたりできたのでしょう。

10月、さまざまな行事がありましたので、ここではすべてを紹介できませんが、その中で子どもたちが体験して感じたことはとても多かったようです。今後も、感染症の予防をしながら、本物の体験ができるように、計画していきたいと思えます。